

行動計画シート（下半期）

行動主体名	教育総務課
課・室・施設長名	蓮香 一郎
①組織の使命	<ol style="list-style-type: none"> 1 人事管理等諸業務の計画的かつ効率的な執行 2 職員研修の充実及び意識改革 3 学校施設の適正な管理並びに節減対策の徹底
②現状認識及び中期展望（向こう3年内）	職員定員適正化計画を勘案して職員数の適正化に努める。 今後、退職する学校主事の嘱託員化による不補充を図る。
③事務改善に関する行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校主事退職後の学校へは、嘱託員を配置する。 2 小・中学校に財務パソコンを設置して事務改善を図る。
④待遇改善に関する行動計画	来客対応は懇切、丁寧に対応するよう更なる指導を徹底する。
⑤経費節減に関する行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校主事の嘱託化を図ることにより、人件費の節減ができる。 2 学校施設の適正な管理を徹底させることにより、経費節減が図れる。
⑥上記③～⑤に対する 上半期自己評価	<p><u>事務改善</u> 学校主事退職補充は嘱託員を配置した。1名。 情報政策課において6月補正にパソコン購入予算が計上され、8月末までに配置を行った。しかしながら、プリンタの配置が完了していないため、財務処理はできない。</p> <p><u>待遇改善</u> 課内会議等、折に触れて指導を行っている。</p> <p><u>経費節減</u> 学校主事退職補充に嘱託員を配置したため、1名分、約百万円（新採職員人件費－嘱託員人件費、年間）の節減となった。</p>
⑦上半期の評価を踏まえた下半期の進め方	<p><u>事務改善</u> 早期にプリンタを学校に配置し、事務改善を図る。（購入執行は情報政策課）</p> <p><u>待遇改善</u> 引き続き指導を徹底する。</p> <p><u>経費節減</u> 業者への印刷発注を極力減らす（自前印刷）など、学校の経常経費の節減に努める。</p>

<p>⑧下半期及び17年度 を通して具体的な取組 の自己評価</p>	<p><u>事務改善</u> 小中学校に財務パソコン等関連機器を配置し、事務改善が図られた。</p> <p><u>接遇改善</u> 接客対応等に改善が見受けられ、指導の効果が上がった。</p> <p><u>経費節減</u> 校長研修会や事務職員研修会等の機会を通して、経費節減を指導しているため、今後効果が上がるものと期待している。</p>
--	--

行動計画シート（下半期）

行動主体名	学校教育課
課・室・施設長名	栗山 俊一郎
① 組織の使命	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流学习や小・中学校の連携をとおして、薩摩川内市として一体感のある教育を推進し、心豊かな幼児・児童・生徒の育成を目指す。 ○ 各学校等及び各地域の事情を踏まえながら、各地域の特色を活かし、家庭での教育力を高めつつ、学校と家庭・地域が一体となった教育を進める。 ○ 国際化教育や情報教育などを積極的に進め、新しい時代に対応できる人材の育成に努める。
② 現状認識及び中期展望（向こう3年内）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合併協議において、統一できなかった制度等について、早急に検討を行い、段階的な移行期間を設定することにより、市民に地域格差や不満感を抱かせない統一基準の設定・調整を、地域の実状と特殊性に十分配慮しながら随時調整を進め、事業内容の統一に努める。 ○ 私立幼稚園の統廃合について、保護者・地域住民の理解を得ながら、段階的に進めていく。
③ 事務改善に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育支所の学校教育課長等の事務分掌について、本庁・支所の区分を超えた新たな体制を積極的に推進するなど、本庁への事務集中の解消を図り、事務の効率化を図る。
④ 待遇改善に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種の教育相談に対する個人情報の保護の観点からも、これまでどおり教育相談室を積極的に活用する。また、今後相談件数が増加することが予測されるが、状況によってはパーテーション・カーテン等による仕切りを検討するなど、市民が相談に来庁しやすい体制・環境の充実に努めていく。
⑤ 経費節減に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校に設置されている教育ネットワーク及びテレビ会議システムを積極的に活用し、情報の共有と迅速な情報交換を行い、時間及び旅費等の経費節減に努める。
⑥上記③～⑤に対する上半期自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支所の学校教育課長（甌島を除く）を交えて、定期的に本庁で協議し、共通理解を図りながら指導行政を推進した。 ○ 薩摩川内らしい一体感のある教育を推進するため、交流学习、中・小学校の連携を推進した。
⑦上半期の評価を踏まえた下半期の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私立幼稚園の統廃合問題については、関係各課とも連携を図り、保護者・地域住民の理解を得ながら進めていく。 ○ 来年度に向けて、課としてのビジョンを明確にし、各教育支所との連携を図り、業務を推進する。

⑧下半期及び17年度を通して具体的な取組の自己評価	甌島区域と本土区域の学校が、テレビ会議システムや、集団宿泊活動等をおして、学校間の交流を深めることができた。 川内地域から東郷・樋脇地域の特認校に通学できるように特認校制度を拡充した。
---------------------------	---

行動計画シート（下半期）

行動主体名	文化課
課・室・施設長名	諏訪元 洋一
①組織の使命	行政の文化化を進めるとともに、市民の文化意識の高揚を図る。 文学館・資料館等文化施設の活用を図る。
②現状認識及び中期 （向こう3年内）展望	今世紀は文化の時代といわれているが、現状では、文化は二の次になっている。全ての施策に文化化の視点を取り入れるため、まずは、職員への啓発活動に努める。 子どもの目線に立った展示、新たな発想による企画展等、文学館・資料館の入館者増に努める。
③事務改善に関する 行動計画	各教育支所においては、各文化協会の事務局を担っているが、薩摩川内市文化協会設立を機に、事務局及び文化祭の実施主体を文化協会へ移行させ、協会の自覚を促すとともに、職員の業務負担の軽減を図る。
④接客改善に関する 行動計画	来客対応の際、カウンター横に丸椅子を準備しておき、双方座って対応する。※現庁舎内は狭隘のため、各課に来客対応用の椅子・机等が置けない状況である。丸椅子なら重ねて収納できるため場所を取らず、安価で措置できる。
⑤経費節減に関する 行動計画	各種審議会・協議会等を同日もしくは、連日開催とし、委員の旅費の軽減を図る。（文化財保護審議会委員と歴史資料館・郷土館運営協議会委員を兼ねている委員が多い。甌4地域からの委員は全員） ※旅費のみならず、移動に要する時間の軽減も図ることができる。全課で日程調整がなされれば、一層の経費節減が図れるものと思われる。 公共的団体の運営費が、会費で賄えるよう、会員の加入増へ積極的に関わる（広報）ことによって、運営費補助金の節減を図る。将来的には、廃止を目指す。
⑥上記③～⑤に対する 上半期自己評価	文化協会との交流で、各地区の会員が自覚を持つことが大事であるということを理解してもらった。 課で持っている審議会の開催を調整中である。 丸いす4脚をそろえ来客の対応に使用している。 1団体への加入をお願いした。
⑦上半期の評価を踏まえた 下半期の進め方	今後も文化協会との交流をとおして、会員の主体性のある取組みを促進する。 これからもお客さんを待たせない、気持ちよく相談が出来る職場をつくる。 文化財の大切さを伝え、その活用を図る。

<p>⑧下半期及び 17 年度 を通して具体的な取組 の自己評価</p>	<p>各地域の文化協会の運営については、全てではないが事務局をそれぞれの文化協会に置いたり、市職員に頼ることのない運営をやるなど協会員に自立運営の機運が出て市職員の軽減が図られた。</p> <p>2 審議会を開催をまとめて開催して、兼ねる審議委員の旅費及び同委員の負担の軽減が図られた。(ただし、現地研修など 2 委員会とも共通の題材があったときのみに限られる。)</p> <p>丸椅子を設置して来客を待たせない、対応が来ている。</p> <p>会員募集の広報については、全ての団体を考慮しなければならず対応できなかった。</p>
--	---

行動計画シート（下半期）

行動主体名	市民スポーツ課
課・室・施設長名	笠毛 伸一郎
①組織の使命	<p>一日の生活習慣の中に健康運動時間を取り入れて、市民の健康づくりを推進し、市民交流スポーツ大会で地域の連携親睦を深める。</p> <p>また、競技力の向上を図り、青少年に感動を与えることで健全育成を図るとともに、施設の安全管理に努め、安心して使用できる施設整備を図る</p>
②現状認識及び中期（向こう3年内）展望	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合型スポーツクラブでの健康づくりへの参加及び高齢者スポーツ教室を実施しているが、広域実施には指導者育成と確保が厳しいため 体育指導委員の研修で養成を図る。 2 地域対抗スポーツ大会の実施、カヌー大会、一輪車大会、綱引き大会等を実施 3 合宿中のプロ選手との交流機会の提供・・・特に地元出身選手 4 指定管理者による管理強化により、受託者の管理意識の高揚を促す。
③事務改善に関する行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 月2回の全職員会議による、課内事務事業推進の周知と改善案の討議
④接遇改善に関する行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 職員間のあいさつの徹底 2 来客への視線と会釈
⑤経費節減に関する行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 公用車での本庁・支所（目的地）への最短距離の確保（時間ではない） 2 文書廃棄によるファイルの再使用と書棚の確保（文書整理により、2年でも廃棄）
⑥上記③～⑤に対する上半期自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員会議は予定より厳しい状況である（時間調整困難） ・ あいさつは励行している ・ 燃料費軽減は努めて実施（本庁まで往復11キロコースを励行）
⑦上半期の評価を踏まえた下半期の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に回数にこだわらず、適時に実施する ・ これまで以上の接遇を進める ・ 本庁への使用回数を効率的に（用事はまとめて） ・ 事業も消化してきた、文書整理を本格化する。
⑧下半期及び17年度を通して具体的な取組の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民交流の各種スポーツ大会は地域の積極的な取組みと、関係団体の協力により円滑に実施でき、第2回開催への弾みになった。 ・ 職員会議は便宜実施できた。不足分は情報共有のため報告回覧で対処した。 ・ 経費削減のうち、公用車本庁経路は往復11キロの経路を励行し、効率よい使用に努めた。

行動計画シート（下半期）

行動主体名	生涯学習課（中央公民館）
課・室・施設長名	川原 隆明
①組織の使命	<p>①社会教育関係者の資質の向上を図るため、青少年の健全育成、家庭教育の充実、人権教育、ボランティア活動の促進等社会教育領域の専門的研修を実施し推進体制の充実に努める。</p> <p>②家庭教育の今日的な課題に対応するため、悩みを持つ親等が安心して気軽に相談できる体制づくりや家庭教育を支援する学習機会の充実に努める。</p> <p>③市民の学習要求が高度化・多様化しており、生活領域に応じた実用的なプログラムに応えるため、市民の学習機会を提供するとともに、本市の生涯学習推進体制を確立する。</p>
②現状認識及び中期展望（向こう3年内）	<p>①市民をはじめ青少年が薩摩川内市民としての一体感が感じられる町づくりを推進する。</p> <p>②本市の真の生涯学習を推進するうえにおいて、行政主体から地域主体へ移行し、地域の人材を活用するとともに市民が学んだ成果を活かせる環境及び組織づくりに努める。</p>
③事務改善に関する行動計画	<p>①事務事業の改善・見直し</p> <p>②支所生涯学習課の支所内移管・支所間の連携</p> <p>③行事(イベント)の一元化</p> <p>④社会教育関係団体等の統合・自主運営・自立化促進</p>
④接遇改善に関する行動計画	<p>①職場内研修の実施</p> <p>②来館者及び職員間の挨拶の徹底</p> <p>③守秘義務・個人情報保護の徹底</p>
⑤経費節減に関する行動計画	<p>①市民利用を考慮した開館日の見直し</p> <p>②各種会議構成員数の見直し</p> <p>③支所機能の再構築・支所間の連携</p> <p>④本庁機能の充実による事務処理等の迅速化</p> <p>⑤事務経費及び管理経費の削減</p> <p>⑥地域人材の活用</p> <p>⑦市民窓口業務の機械化の研究・検討</p>
⑥上記③～⑤に対する 上半期自己評価	<p>①事業実施の際、一事務一事業の改善の実施</p> <p>②支所生涯学習課の支所内移管調査・研究の実施</p> <p>③類似行事の統合</p> <p>④会議の開催回数及び構成人数の削減検討</p> <p>⑤機会を捉えての経費削減意識の確認</p> <p>⑥生涯学習センター及び地区公民館の開館日の調査・研究</p>
⑦上半期の評価を踏まえた下半期の進め方	<p>①設定目標の積極的且つ迅速な実現</p> <p>②職員の意識改革の徹底</p>

<p>⑧下半期及び17年度 を通して具体的な取組 の自己評価</p>	<p>①事務改善は概ね、改善の努力が表れた箇所が見られる。18年度も引続き改善・検討の視点を持ち努力していきたい。</p> <p>②各支所内教育生涯学習課との連携は、連絡通信手段の有効活用を含め、今後も連携の充実に努める必要がある。</p> <p>③社会教育関係団体の統合・自主運営・自立化は概ね良好に進められている。一部には団体の歴史的経過から統合が困難な団体があるが、働きかけを継続してまいりたい。</p> <p>④職員の資質向上については、必要に応じ行った。良好な状態が見られている。</p> <p>⑤経費節減については、職員の努力により、省エネ等について良好な結果が得られた。</p>
--	--

行動計画シート（下半期）

行動主体名	学校給食課
課・室・施設長名	彌栄 敏寛
①組織の使命	市内 8 箇所の学校給食センター及び祁答院地域の 5 単独調理場の総合調整・施設等の機能統合，給食費の調整均一化，食材購入等の調整一元化に向けた検討
②現状認識及び中期展望（向こう 3 年内）	具体的検討内容として，①配送時間，配送計画②施設整備及び調理能力③児童生徒数の推移④建屋及び敷地⑤経費等考察検討の中で関係機関，関係団体等の協議・説明に時間を要することから，説明会等の実施や十分な移行期間が必要。施設整備を実施する場合は，学校が長期休暇期間中の実施になる等課題はある。
③事務改善に関する行動計画	機能統合の実施により，学校給食会の統合，給食費の調整，給食食材購入等の事務改善の実施
④接遇改善に関する行動計画	来庁者等に不信感を与えないよう挨拶の徹底を図る
⑤経費節減に関する行動計画	機能統合・民間委託を検討し経費節減を図る
⑥上記③～⑤に対する上半期自己評価	<p>アウトソーシング計画により各地域の学校長及び PTA 代表に機能統合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一部委託の説明会を実施
⑦上半期の評価を踏まえた下半期の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方針決定に伴い，各地域の学校・保護者，関係機関・団体等に施設の機能統合及び一部委託の説明会を実施し，給食センターの機能統合等の実施推進を図る ・ 施設・設備及び機器等の整備計画及び予算作成
⑧下半期及び 17 年度を通して具体的な取組の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ アウトソーシング方針に基づき，全地域で説明会を実施し祁答院地域以外は理解が得られた方向である。 ・ 祁答院地域については，再度説明会等を開催し調整が必要である。 ・ 給食費・食材購入の一元化については，補助金の見直しを含み具体的試算による検討を実施した。

行動計画シート（下半期）

行動主体名	少年自然の家
課・室・施設長名	春田 睦男
① 組織の使命	少年たちをふるさとの恵まれた自然に親しませ、集団宿泊、自然探求、野外活動等を通じて、情操及び社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し、健全な少年の育成に努める。さらに、多くの市民に学習の場や機会を提供し、個性豊かな人づくりや幸せを実感できるふるさとづくりの推進に努める。
② 現状認識及び中期（向こう3年内）展望	自然体験等の減少により、がまん強さや思いやりの心に欠ける青少年が少なくない現状をみると、当施設の果たす役割は今後さらに大きくなる。また、市民の生涯学習の場としての機能も期待されている。市民に親しまれる施設として、施設設備の計画的な整備、主催事業の充実、活動プログラムの開発等に努め、利用者増を図る。
③ 事務改善に関する行動計画	キャンプの森整備事業及び少年自然の家施設整備事業の推進、既存施設の保全及び施設管理の充実、事故防止と安全指導の徹底に努める。所内会議や係会等の充実による効率的な業務の推進に努める。
④ 接客改善に関する行動計画	施設の利用増を図るためにも、電話対応や来客への対応について、定期の所内会議や研修を通じて共通理解を図り、周知徹底させる。利用団体との事前の打合せをより綿密に行い、充実した研修が実施できるよう支援する。
⑤ 経費節減に関する行動計画	職員はもちろん、施設の利用者にも節水、節電などをこまめに呼びかけ、光熱水費の縮減に努める。（オリエンテーション時の説明や団体代表者への協力依頼）施設の簡易な補修等については、職員で迅速に対応するなど、野外活動施設の保守整備と安全点検の徹底により、経費節減に努める。
⑥ 上記③～⑤に対する上半期自己評価	<p>③ キャンプの森整備事業、少年自然の家施設整備事業は、関係機関との協議を行い、概ね計画どおり進捗している。</p> <p>④ 電話や窓口対応、利用者への説明など、謙虚な姿勢で心をこめた接客改善に努めた。あいさつ先手運動の実施に努めた。</p> <p>⑤ 節電、節水に努めたが、水道使用料が前年比増加しており、さらなる節水に努める。</p>
⑦ 上半期の評価を踏まえた下半期の進め方	<p>③ キャンプの森整備事業、少年自然の家施設整備事業の年度未完成。</p> <p>④ あいさつ先手運動の継続。利用団体の研修目的達成のための効果的支援。</p> <p>⑤ こまめな節水・節電の呼びかけ。未使用室の消灯、入浴時の節水の指導と点検。</p>

<p>⑧下半期及び 17 年度 を通して具体的な取 組の自己評価</p>	<p>③ 関係機関と連携を図り，施設設備の整備が図られた。</p> <p>(ア)キャンプテントサイト（38基） (イ)野外宿泊施設（1棟） (ウ)陶芸窯（穴窯，電気窯），炭焼き窯 (エ)キャンプ炊飯棟屋根葺き替え (オ)野外活動施設の保守整備と安全点検の徹底</p> <p>④ あいさつ先手運動をはじめ，電話や窓口対応時の適切な対応に努め，接遇改善が図られた。</p> <p>⑤ 職員の節水・節電に対する意識は向上したが，利用団体に対する説明や周知が徹底しきらなかった。</p> <p>年間を通して利用者の確保に努め，利用団体数386（+68），研修延べ人数36,088人（+3,359人）の利用があったさらに市民に親しまれる「てらやまんち」をめざし，努力していきたい。</p>
--	---

行動計画シート（下半期）

行動主体名	中央図書館
課・室・施設長名	中島 信行
①組織の使命	<p>図書及び館内奉仕の充実を努力点として図書館システムによる図書の貸出返本，検索業務の迅速化を図るとともに，図書館のホームページを適時更新を行う。</p> <p>また，移動図書館車による市内全域での図書利用を図る。市民サービスへが低下しないように努力する。</p>
②現状認識及び中期展望（向こう3年内）	<p>平成18年度 8分館の図書館システム稼動 移動図書館車の3台体制になり，市民サービスへの充実</p>
③事務改善に関する行動計画	<p>平成18年度8分館の図書館システム稼動に向けて全分館図書登録作業中である。</p>
④接遇改善に関する行動計画	<p>意見箱を定期的にかけて要望等について検討・改善している。来館者へのあいさつ等，快適に図書館を利用してもらえよう努めている。</p>
⑤経費節減に関する行動計画	<p>閉館時間外の消灯に努めている。 冷暖房設備管理については，適正な温度調整に努めている。</p>
⑥上記③～⑤に対する 上半期自己評価	<p>市民からの要望等には，対応している。 経費節減等についても，こまめな対応している。</p>
⑦上半期の評価を踏まえた 下半期の進め方	<p>今後も努力していきたい。</p>
⑧下半期及び17年度 を通して具体的な取組 の自己評価	<p>①事務改善は概ね，改善の努力が表れた箇所が見られる。18年度も引続き改善・検討の視点を持ち努力していきたい。</p> <p>②各支所内教育生涯学習課との連携は，連絡通信手段の有効活用を含め，今後も連携の充実に努める必要がある。</p> <p>③社会教育関係団体の統合・自主運営・自立化は概ね良好に進められている。一部には団体の歴史的経過から統合が困難な団体があるが，働きかけを継続してまいりたい。</p> <p>④職員の資質向上については，必要に応じ行った。良好な状態が見られている。</p> <p>⑤経費節減については，職員の努力により，省エネ等について良好な結果が得られた。</p>